

「薫る野牧場」の開設式が行われました

山北町在住の認定新規就農者である島崎薫氏（平成 30 年 4 月認定）が大野山乳牛育成牧場跡地にある山北町共和財産区所有の土地 8.8ha を借入れて開設する「薫る野牧場」の開設式典が、平成 30 年 6 月 7 日に開催されました。

島崎氏は農業系大学を卒業後、岩手県の中洞牧場に就職し、牛を自然のままに山に放牧して飼養する「山地（やまち）酪農」に 4 年半従事しました。それを契機に自身でも山地酪農を経営しようと、1 年半前から山北町に住み、当地での牧場開設の準備を進めてきました。

当所は農業アカデミーと協力し、事前相談・準備の段階から青年等就農計画作成を中心に支援を行ってきました。

式典には中洞牧場長夫妻、山北町農林課長、JA かながわ西湘山北支店長、地元企業・建築関係業者、県畜産課等の他、地域の方々あわせて 60 人以上が集まりました。来賓祝辞の後、島崎氏から飼養牛の紹介と施設・放牧場の披露が行われました。地元の方々も、「地域の活性化のためにも活躍を期待する」とエールを送っていました。

薫る野牧場には、6 月 6 日に中洞牧場から 5 頭の乳牛（ジャージー種）が導入され、そのうちの 3 頭を搾乳しています。今後は生乳をソフトクリームミックスに加工して販売していく予定で、現在は自分の加工施設で試作に取り組んでいます。

当所は今後も、農業セミナー生として、また、就農計画を円滑に推進し経営を安定化させるため、技術的な支援を行っていきます。



写真（左）搾乳舎の前で行われた盛大な開設式

（右）富士山を望む放牧地で中洞牧場長（右）と記念撮影をする島崎氏（左）

備考

畜財産区：特別地方公共団体の一つ。市町村および特別区の一部で財産を有し、または公の施設を設けているもの。

※※ 6 月 12 日に食品製造許可取得済。